

区	[開会]
会長職務代理	<p>普段は八王子市の南大沢キャンパスに勤務しているが、八王子と荒川区では街の雰囲気が大きく異なり、特に住民がアットホームであると感じている。基本構想については、荒川区ならではのユニークな内容となることを期待し、議論に参加したい。</p>
参加委員	[委員紹介]
会長	<p>本審議会は2040年を構想するために、「明るく前向きに」という約束の下で実施している。今日は、基本構想の柱を検討する非常に重要な会議である。忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>まず、本日の審議会の成立について事務局から報告いただきたい。</p>
区	<p>審議会条例第6条2項において、審議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができないと規定されているが、今日は2分の1以上の委員が出席しており、会が成立していることを確認した。</p>
会長	<p>続いて、次第2「荒川区基本構想審議会運営規定の改正」について事務局より説明いただきたい。</p>
区	<p>資料1「荒川区基本構想審議会運営規定」について説明する。</p> <p>第1回基本構想審議会において、小委員会の進め方に関して「もう一方の小委員会に参加できるようにしてはどうか」とご提案いただいた。</p> <p>そこで、オブザーバーとして、もう一方の小委員会へ参加いただけるよう、基本構想審議会運営規定に新たに条文を設けた。</p> <p>具体的には、小委員会の出席はあらかじめ申し出ること等の規定を設けた。</p> <p>また、第17条において、各小委員会が所掌する政策分野を規定していたところではあるが、「区政運営」はすべての政策分野に関連するため、第1小委員会、第2小委員会の両小委員会でご審議いただきたく、第2小委員会の所掌する政策分野に「行政運営」を追記した。</p>
会長	<p>資料1について質問・意見をいただきたい。</p> <p>質問がないため、資料1の通りに進める。</p> <p>続いて、次第3「荒川区の現状と新たな政策体系(案)」について事務局より説明いただきたい。</p>
区	<p>資料2「荒川区の概要」について説明する。</p> <p>この後の議論の時間をしっかりとらせていただきたいのと、事前に資料をお送りしていたため、簡潔に説明する。</p>

荒川区の位置について。荒川区は東京都 23 区の北東部に位置し、鉄道路線が多く通っており、区内だけでなく都心や周辺地域へのアクセスも良好な地域となっている。

7 ページは、荒川区の基礎的な情報を数字でまとめた。

荒川区の面積は 10.16 km<sup>2</sup>で、23 区で 2 番目に小さい面積の区である。人口、その他の数字は記載のとおりである。

8 ページについては、第 1 回基本構想審議会でも説明したとおり、平成 19 年に策定された現在の荒川区基本構想は将来像に「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、6 つの都市像のもと、取組を進めてきた。

9 ページに記載の過去 10 年間の人口動態を見ると、0 歳～14 歳の年少人口、15 歳～65 歳の生産年齢人口はほぼ横ばいで推移している一方で、65 歳以上の人口は増加しており、荒川区においても、高齢化が進んでいる。

10 ページは荒川区の予算について記載している。荒川区の令和 7 年度一般会計当初予算額は 1319 億 3,000 万円で、歳出面では、福祉や子育て等の民生費が大部分を占めている。歳入面では、東京都が徴収する税の一部を特別区に分配する「特別区財政調整交付金」の割合が大部分を占めている。

11 ページは令和 7 年度の一般会計当初予算を 1,000 円とみなした際の予算規模を示している。

資料 3「区の現状調査及び区民参画結果」について説明する。

新たな基本構想の策定に当たり、荒川区の特性や区民意見等、より事態に即した区の現状を把握し、策定に活かすことを目的として実施した各種調査の内容を 13 ページに記載している。

具体的には、社会環境の分析として、国・東京都の社会動向・政策動向の分析、荒川区と隣接区との人口、土地利用、産業等に係る数値の比較分析、財政分析、2040 年の将来人口推計である。

このほか、区民等からの意見募集として、アンケート、ワークショップ、関係団体へのヒアリングを実施した。

14 ページについて、区の現状調査で実施した、4 つの調査について説明する。社会経済動向の分析では、国及び都の現状や政策動向等を整理し、特別区への影響を分析した。詳細は、「社会経済動向の分析報告書」をご確認いただきたい。区の現状調査「区を取り巻く社会環境等の分析」では、荒川区の人口構成や土地利用、産業構造など、近隣区と比較して区の現状と立ち位置を把握するため、分析を行った。詳

細は、「区の現状調査報告書」をご確認いただきたい。「財政分析」では、地方公共団体の財政力を示す財政力指数や人件費・公債費など毎年経常的に支出される経常収支比率等、荒川区の財政面における特徴等の分析を行った。詳細は「財政分析報告書」をご確認いただきたい。「将来人口推計」では、将来に向けた取組の必要量や方向性を検討するため、2040年までの荒川区の将来人口の推計を実施した。

15ページでは将来人口推計を示している。荒川区の将来人口は2040年には、現在の人口から約1万人増加して、235,286人となる見込である。各年代とも人口が増加する想定である。16ページは年齢3区分別の構成比である。

17ページでは実施した区民参画を列記している。基本構想の策定に当たり、幅広い年齢層の区民の皆様や多様な関係団体の皆様からの意見を反映させるため、複数の手法にて意見を聴取した。

川の手まつりの参加者を対象としたオープンハウス型アンケートや、18歳以上の区民3,000名を対象とした区民アンケート、小学5・6年生、中学生を対象とした子どもアンケート、区内123団体を対象とした関係団体ヒアリングのほか、18歳以上の区民を対象とした区民ワークショップ、16歳～30歳の方を対象とした若者ワークショップ、小学5・6年生、中学生を対象とした子どもワークショップを開催し、意見をいただいた。

19ページではオープンハウス型アンケートの実施結果を示している。令和7年4月29日に川の手あらかわ祭で実施したオープンハウス型アンケートでは、「最も大切な政策分野は何ですか?」という質問に対し、1,316票回答をいただいた。「子育て」や「防災・防犯」「まちづくり」の分野を大切と考える区民が多いという結果となった。

20ページでは、区民アンケートの実施結果を記載している。区民アンケートでは、区が実施する政策・施策の重要度、満足度や区の将来像等について意見を伺った。政策の重要度について、「重要である」「やや重要である」と回答した方の割合90%を超える分野を囲っている。政策の満足度については、「満足である」「やや満足である」と回答した方の割合40%を超える分野を囲っている。

21ページの内容は、政策の重要度及び満足度を数値化し、散布図に落とし込んだものとなっており、区の強み、課題が分かる図となっている。

区民アンケートの自由記述では「荒川区の良いところ、未来に残したいところ」、「2040年頃の荒川区-がどのような『まち』になってい

てほしいか」,「将来像を実現するために、自身が所属する団体・グループでできること」について意見をいただいた。

子どもアンケートは3問すべて自由記述にて実施した。「区の好きなところ、自慢したいところ」、「区がもっと良くなるために、改善した方が良く思うところ」、「区長になったらやりたいこと」についてアンケートを実施した。主な回答を記載し、「区の好きなところ、自慢したいところ」でキーワードとなりそうな文言を赤字、改善した方が良く思うところでは、ポイントとなりそうな言葉は青字で記載させていただいている。

区民ワークショップは、令和7年8月～11月にかけて、全3回の日程で実施した。全日程同じ方にご出席いただき、各回に異なるテーマを取り上げ、議論を深めるプログラムで実施した。

第1回ワークショップは「荒川区の好きなところ」と「キャッチフレーズを考えよう」の2つのテーマで議論し、主な意見は記載のとおりとなっている。

第2回ワークショップでは、政策分野ごとに6つのグループに分かれてワークショップを実施した。「荒川区の強み・良いところと弱み・課題」のテーマで議論し、主な意見は記載のとおりとなっている。また「都市像を考えよう」のテーマでは、記載のとおり、この後の都市像の議論の参考にもなるような荒川区らしい都市像案が出た。

第3回では「都市像を実現するために必要な取り組み」のテーマで政策分野ごとに6つのグループに分かれて議論を行い、主な意見は記載のとおりである。「区民がもっと関わりやすくするには」のテーマも同様に議論し記載のとおり取りまとめた。

30ページに記載の子どもワークショップでは、「荒川区の好きなところ・残念なところ」「将来、こんなまちになってほしい」の2つテーマでワークショップを行い、率直な意見を聞くことができた。31ページに主な意見を記載している。

若者ワークショップでは、「荒川区の強み・弱み、将来どんなまちになってほしいか」と「若者がもっとまちづくりに関わるには」をテーマに実施し、33、34ページに記載の若者の視点で様々な意見をいただいた。

区内の関係する123団体にご協力いただいたヒアリングでは、記載の6つの設問の対する主な意見を記載している。

なお、区民参画結果の詳細は「区民参画結果報告書」をご確認ください。

資料4「新たな政策体系(案)」について、説明する。

まず、現行の計画における政策体系について説明する。

現在の荒川区の政策体系は、第1回審議会及び区の概要で説明したとおり、「生涯健康都市」「子育て教育都市」「産業革新都市」「環境先進都市」「文化創造都市」「安全・安心都市」の6つの都市像を柱とし、1つの都市像につき、都市像を達成するための政策が2つ紐づいている体系となっている。

今回実施した区の現状調査や区民・団体から意見をいただいた結果、新たな政策体系を4つの柱とする事務局案を提案する。

4つの基本目標とした理由は、区民からの意見聴取の過程で、「現状の体系がやや分かりづらい」「何に重点を置くのか見えにくい」との声があった。また、他の区の基本構想では、基本目標や都市像を概ね3~4に絞る例が多く見られる。荒川区が「2040年に向けて何を取り組んでいくか」を分かりやすく示すという観点から、今回4つの基本目標を設定した。

基本目標(都市像)について、1つ目の基本目標は、主に子育て、教育、若者、生涯学習・スポーツに関する柱として「将来にわたって『ひと』が育つまち」を掲げる。

2つ目の基本目標は主に健康、高齢・介護、障害・生活支援、人権・平和・多様性・つながりに関する柱として「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」を掲げる。

3つ目の基本目標は、主に文化・芸術、地域のにぎわい、産業、区民参画・協働・シティプロモーションに関する柱として「人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」を掲げる。

4つ目の基本目標は防災、都市基盤、住環境、防犯・区民生活の安全、環境・みどりに関する柱として「安全安心で快適に暮らせるまち」を掲げる。なお、現行計画において、施策や事務事業で進めてきたものの都市像や政策に記載がなかった取組は赤字で記載している。

今回の第2回審議会では、基本目標(都市像)についてご審議いただき、政策や政策の方向性は、小委員会にてご審議いただく予定である。

資料40ページの基本目標 について。資料のつくりは、基本目標(都市像)のタイトルは「○○○」と空欄で、サブタイトルと、都市像の方向性については事務局の方で案を記載している。

4つの基本目標を設定した、背景等について説明する。1つめの「将

来にわたって『ひと』が育つまち」について。現状・課題として、「子育て家庭の不安感や孤立感」「抱える悩みの多様化に伴う子育て相談の多様化・複雑化」などがあげられる。また、区民意見では、「安心して子育てできる環境の維持」や「体験型の学びの推進」などが、アンケートやワークショップ等で寄せられた。これらを踏まえた方向性は、子どもや若者をはじめとする地域の未来を支える「ひと」が育つことが重要と考え、「将来にわたって『ひと』が育つまち」を基本目標に据えることで、未来の荒川区の礎である「ひと」が育ち、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進していく考えである。基本目標の推進に当たっては、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援、学校教育、生涯学習等の充実による、自己の能力と可能性を最大限に伸ばすことができるよう、「子育て」「教育」「若者」「生涯学習・スポーツ」の政策を設定した。

41 ページの基本目標 「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」について。現状・課題として「高齢化の進行による後期高齢者の増加」や「人と人とのつながりの希薄化」などがあげられ、区民意見として、「高齢者が住みやすい福祉サービスの充実」や「転入者や世代間の交流の機会を増やす」などが寄せられた。これらを踏まえた方向性は、年齢・国籍等問わず、誰もが孤立せず、互いの価値観を理解し共存し合う共生社会が重要となると考え、「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」を基本目標に据えることで、人々が互いを認め、つながり、生きがいを持って過ごすことのできる地域づくりを推進していく考えである。基本目標の推進に当たっては、福祉サービスの提供や医療体制の整備、あらゆる人々の相互理解・尊重、生きがいを持って暮らすことのできる社会づくりができるよう、「健康」「高齢・介護」「障害・生活支援」「人権・平和・多様性・つながり」の政策を設定した。

3 つめの「人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」について。現状・課題として、「団体等の高齢化による後継者不足・活動の縮小」「ネット通販の拡大等による商店街・個店の衰退」などがあげられ、区民意見は、「産業や伝統技術、観光資源などのまちのブランド化を積極的に行うべき」「区の実業の発信を強化すべき」などが寄せられた。これらを踏まえた方向性は、少子高齢化等による人手不足の深刻化や原材料費・エネルギーコスト等の高騰による企業ダメージのほか、伝統技術や商店の後継者不足が加速する一方、訪日外国人客によるニーズの変化等、目まぐるしく変化する社会情勢に大きく左右されている中に

	<p>において、「人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」を基本目標に据えることで、地域の伝統・文化の保全と継承、産業・観光振興によるにぎわいの創出、住民力の強化を通じて、にぎわいと誇りに満ちた魅力ある街づくりを推進していく考えである。基本目標の推進に当たっては、「文化・芸術」「地域のにぎわい」「産業」「区民参画・協働・シテプロモーション」の政策を設定した。</p> <p>4 つめの「安全安心で快適に暮らせるまち」について。現状・課題として、「風水害等の災害の激甚化」や「人のつながりの希薄化による共助への不安」等があげられる。また、区民意見として、「災害に強いまちづくり」や「犯罪を1件でも減らす」、「魅力ある公園の整備や水辺空間の活用」などが、寄せられた。これらを踏まえ、方向性としては、持続可能なまちづくりを行うため、強靱な都市基盤の整備とともに、包括的な防災・防犯対策のほか、自然環境の保全や緑の拡充により、暮らしやすい環境をつくり出していくことが必要と考え、「安全安心で快適に暮らせるまち」を基本目標に据えることで、防災・防犯体制の強化による強い荒川区をつくとともに、魅力ある公園整備や環境保全と緑化の推進による、快適で持続可能な都市環境の整備を行っていく考えである。基本目標の推進に当たっては、「防災」「防犯・区民生活の安全」「都市基盤」「住環境」「環境・みどり」の政策を設定した。</p> <p>今回の審議会でご意見をいただきたい内容は、新たな政策体系(案)の基本目標(都市像)についてである。各基本目標の記載内容や、基本目標を端的に示すためのタイトル、サブタイトル、方向性等について、ご意見をいただきたい。皆さまにいただいた意見は、資料の赤枠に記載のようなイメージで今後まとめていく。なお、皆さまにいただいた意見を踏まえ、第3回基本構想審議会にて修正案をお示しさせていただく。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>まず、資料2、資料3について質問・意見をいただきたい。</p> <p>荒川区の緑被率は2017年の調査で10.5%であり、23区内では下位であるにもかかわらず、区民アンケートやワークショップでは区民が荒川区は緑が豊かであると認識していることに驚いた。これは尾久の原公園や自然公園、都電沿線のばら、隅田川などの印象が強いことや、まちなか花壇など区民が参加して緑を大切にする取り組みが認識されていることが要因と推測される。</p> <p>団体ヒアリングの対象団体の抽出方法についてご教示いただきたい。</p>

<p>区 委員</p>	<p>基本構想の策定について全庁的に取組を進める観点から、各部署にて日頃から関わりのある団体にお声がけした。</p> <p>区と関わりのある団体は補助金を受給している団体が多いと推測されるが、基本構想で区民の目標を共有することを目指すのであれば、より幅広い団体にヒアリングした方が良かったのではないかと感じる人が多いのも、住民と共に緑を育てる活動をしている団体があるためと推測される。区に陳情を出しているような団体にもヒアリングした方が良かったのではないかと。</p> <p>また、人口推計について、世帯構成も考慮した方が良いのではないかと。単身者が増加しており、家庭という持続的で親密な関係性を持たない人が3~4割に達する可能性もある。世帯構成にかかわらず安心して暮らせるようにするために、世帯構成の把握をした方が良いのではないかと。</p>
<p>区 会長 委員</p>	<p>団体ヒアリングの対象には補助金を受給していない団体も含まれている。また、団体ヒアリングだけでなく、区民アンケートも実施し、幅広い人から意見を聴取している。頂いたご意見は、今後他の計画策定の際に参考にしたい。</p> <p>人口推計については、本日お示した結果よりも詳細な推計も実施している。次回以降、世帯構成別の推計についてもお示ししたい。</p> <p>パブリックコメントでの対応もお願いしたい。</p> <p>団体ヒアリング結果について、主な回答として設問あたり2,3の回答が掲載されているが、元々どれくらいの回答があったのか。</p>
<p>区 委員</p>	<p>多くの回答を頂き、区議会の総務企画委員会に報告した資料では、3,4ページに渡る資料で報告した。今回の資料では、すべての回答を掲載することは難しいため、抜粋して掲載した。本日の資料に掲載していない回答については区民参画結果の報告書をご覧ください。</p>
<p>区 委員</p>	<p>基本構想の策定に当たっては、区内で今後2か所の再開発が行われることを考慮する必要がある。</p> <p>また、区民が生きる喜びを持つような構想にすること、老若男女が参画できる仕組み作り、働く場所を創出しリアルな場を創出していくことが必要である。</p> <p>再開発については人口推計にも加味している。基本構想の策定後、都市計画マスタープランも策定予定であり、老若男女が区政に参画できる仕組み作りにも取り組んでいきたい。</p> <p>開発は進行中であり、開発の関係者も参画できるようにしていく必</p>

<p>会長</p>	<p>要がある。</p> <p>資料4について質問・意見をいただきたい。</p> <p>今回の第2回審議会では、4つの基本目標（都市像）のスライドの内容を固めることが目的である。サブタイトルと基本目標の方向性は、意見がないと、現案のままとなるため、積極的にご意見いただきたい。</p> <p>まずは、基本都市像「～将来にわたって「ひと」が育つまち～」について、ヒアリングやアンケートの結果も適宜参照いただき、意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今後15年間多くの関係者で共有される文言を本日決定するのが良いのか疑問である。小委員会にて詳細に議論する中で文言が生まれてくるのではないかと。進め方について再検討いただけないか。</p> <p>また、現行基本構想の振り返り状況、及び区役所職員へのヒアリングは実施したかについてご教示いただきたい。</p>
<p>区</p>	<p>本日の審議会では、様々な意見やキーワードを頂きたい。小委員会内でも本日の審議内容を提示し、第3回審議会にて、それまでの議論を踏まえて、文言の案をお示しすることを想定している。</p> <p>前回基本構想の振り返り結果は、現在庁内で取りまとめ中であり、小委員会の1,2週間前までにお示しする。</p> <p>庁内では、若手職員が政策を提案し、区長に発表する取組を実施している。その結果も、審議会のなかで取り入れていきたい。また、本日の資料は各部の部長が集まり全庁的な議論を交わした結果として提示している。</p>
<p>委員</p>	<p>文言について、区民に意見を募集するなどの形で参画いただいてはどうか。</p>
<p>区</p>	<p>審議会の案を、オープンハウスなどの形で提示し参画頂くことは検討可能と考える。</p>
<p>会長</p>	<p>文言は、区民や若い方、行政職員の意見も踏まえて第3回審議会に向けて決まっていくものと認識している。</p>
<p>委員</p>	<p>全体のスケジュールをお示しいただいているが、事前に全体の工程といつまでに何を定めるかについてもお示しいただきたい。</p>
<p>区</p>	<p>小委員会にて詳細に、いつ、何を、どのように定めるのかが分かる形でお示ししたい。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは政策について小委員会で個別具体的に議論して原案を作成し、その後に基本目標が出てくるものと思われる。</p> <p>また、新基本構想において現行基本構想を一定程度踏まえるべきと</p>

	<p>考えるが、現行基本構想の政策体系と新基本構想の政策体系との関係性についてどのように考えているか。</p>
<p>区</p>	<p>現行基本構想で定めている各都市像に紐づく2つずつの政策は、今後も取り組むべきものと認識している。新しい基本構想では、現基本構想の政策を引き継ぎつつ、新しい要素を追加している。</p>
<p>委員</p>	<p>承知した。小委員会の議論が重要と考える。</p>
<p>会長</p>	<p>区からの提案と区民の意見を突き合わせて議論するために、本日の審議会で議論してはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>第三者的な意見も踏まえるのが重要という意見に同意する。</p>
<p>会長</p>	<p>本日はワークショップやアンケートの結果を基に、4つの基本目標に関するスライドの内容の過不足を検討するというので良いか。</p>
<p>会長</p>	<p>- 異議なし -</p>
<p>会長</p>	<p>基本目標 「 ~将来にわたって「ひと」が育つまち~ 」について意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>政策に新たに生涯学習が加えられているが、そのことが基本目標に十分に反映されていない。生涯学習は、以前は高齢の方の勉強や楽しみという意味合いが強かったが、近年は変化の激しい情報化社会に対応するための学び直しという意味合いで政府全体で推進されており、重要性が増している。何歳になっても何回でもやり直し・学び直しができる社会・まちにするべきということも包含できる基本目標とした方が良いのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>生涯学習という言葉が方向性の中には記載されているものの、政策に新しく追加している割には言及が少ないという意見として理解した。</p>
<p>区</p>	<p>指摘を踏まえて方向性を修正し、意見を反映したものを新たに提示できるよう努める。</p>
<p>委員</p>	<p>16ページの人口推計について、詳細な推計結果や推計手法について資料を提供いただきたい。</p>
<p>区</p>	<p>小委員会にて詳細な人口推計結果を提示予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>荒川区において子どもの権利条例が策定されており、「子どもの権利」という文言が入った方が良いのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援とあるが、生涯学習も含めて生涯に渡ってということであれば、就労まで含めてはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>38ページの新たな政策体系案において、18政策と4つの基本方針となっているが、分野を横断する取組も想定した表現があった方が良いのではないか。</p>

会長	子どもの権利は基本目標の「多様な価値観」にも含まれる可能性がある。
区	子どもの権利条例は踏まえる必要があると認識している。 就労については、生涯学習と併せて追加したい。 分野を横断する取組も想定しているが、分野横断の取組が多数存在することで、計画内で何度も同じ取組が再掲されることは避けたいと考えている。
委員	基本目標が4つになったことで、全体の構成が分かりやすくなった。サブタイトルも良いと感じている。 切れ目のない支援は重要であり、就労や生涯にわたる支援まで含まれるようにしていただきたい。ただし、妊娠や出産という文言では、女性が主な支援先となるように捉えられる可能性があるため、表現について再考していただきたい。 育つということについては、様々な環境の人がいる中で、区がセーフティーネットとなるべきではないかと考えている。荒川区には全国から注目される「子ども応援ネットワーク」という取組がある。 また、横断的な取組が必要ではないか。4つの基本目標に分けたことで、本来は繋げる必要があるものの間に穴が空いてしまっている。 加えて、スライドに現状と課題が記載されているが、強みを伸ばすことも重要ではないか。ヒアリング団体からの聴取結果も踏まえて、強みを記載いただきたい。
区	妊娠・出産という文言についてのご指摘については、区では男性の育児参画の促進も推進していることを基本構想に反映したいと考える。 分野横断的な取組については、基本構想としては分野ごとに所管課が責任を持って政策を推進するよう体系化したい。実際の政策の推進に際しては適宜連携も図っていきたい。
委員	強みについては、小委員会でお示ししたい。 基本目標を並べた図において、基本目標を梯子のようなもので繋げると、分野横断的な取組も推進する姿勢があることが伝わるのではないかと。一目で分かるようなビジュアルにしていくことが必要と考える。
会長	現行の基本構想では、各基本目標が輪のように繋がっていた。
区	頂いたご意見を踏まえて検討する。
会長	「『ひと』が育つまち」という表現は、みんなで育てるなどというように表現を工夫いただきたい。

	<p>また、現状、課題、強みも重要だが、未来についても言及していただきたい。</p>
委員	<p>「未来の荒川区の礎である人が育ち将来に渡って持続可能な街づくりを推進する」という文章の構造が良く分からない。</p>
区	<p>人が育ち、荒川区に住み続けることで、持続可能なまちにつながると考えている。</p>
委員	<p>人が主体的にまちづくりに関わることで、まちが持続可能になるかもしれないが、そのような趣旨であれば、文言をもう少し工夫する必要があるのではないかと。</p>
区	<p>また、区の景観計画にて景観軸として、隅田川、都電、日暮里台地の3軸を定めている。都電は、資料の中では区民からの言及が見られないが、荒川の風情の要素になっていると考える。</p>
区	<p>区民ワークショップ等にて都電に対する言及もあったので、反映していきたい。</p>
委員	<p>都電は、観光資源であり、観光へのアクセシビリティを高める手段でもある。また、区民の思いも強く都市の骨格となる。</p>
会長職務代理	<p>また、基本目標の区民意見に「水辺空間の活用」とあるが、「水辺空間の活用」は賑わいの基盤となることから、「水辺の安心安全」を基本目標に記載し、基本目標に「水辺空間の活用」を記載することも検討いただきたい。</p>
会長職務代理	<p>4つの基本目標は、下の二つが上の二つを支える構造になっているように感じる。同様に、前回の基本構想では、都市像のとが他の都市像を支える構図となっていた。基本目標間の関係性について、構造を表現することで、繋がりも考慮できるようになるのではないかと。</p>
会長	<p>文章を読まずとも概念が分かる図になるように工夫いただきたい。</p> <p>基本目標「～多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち～」について意見をいただきたい。</p>
会長職務代理	<p>荒川区は総合病院が少ない一方で、アンケート結果では健康に関する満足度が高く、区民が自立的に健康づくりに励んでいるという強みがあることが推測される。</p>
区	<p>健康への満足度が高いことは認識している。区内に病院や診療所は多くないが、区民が自立的に健康づくりをする機運がある。これは、コミュニティが維持され、お互いに助け合うためのつながりがあるためと思われる。保健所としては、そうした活動を助けつつ、健康アプリを活用しデジタルでもつながりを創れるように取り組んでいきたい。基本構想にも、区民の健康づくりのための自主的な活動について</p>

<p>会長 委員</p>	<p>記載したいと考えている。 サブタイトルにも健康への言及が含まれた方が良い。</p>
<p>会長</p>	<p>基本目標 のサブタイトルは、説明が長く、見直しの余地がある。例えば、「誰もが大切にされ自分らしく輝くまち」だと、健康も含めた包括的な表現になるのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>区民アンケートでは、健康の満足度が高く、現状のままで良いという考えかもしれないが、強みを残すということも重要であるので、サブタイトルには健康への言及も含めていただきたい。</p>
<p>区 委員</p>	<p>承知した。 「高齢化の進行による後期高齢者の増加や外国人の増加、価値観の多様性等、社会構造の変化により、地域社会はより複雑で多様な人々の共存が求められている。」という一文は分かりにくい。</p>
<p>区</p>	<p>様々な意見を踏まえてこうした文言となっているが、分かりやすい文言に変えていけるように検討したい。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>要素をつなげるだけでなく、意味を持たせて、説得力のある文章を作成する必要がある。 高齢化の進行と外国人の増加は現状として記載しているか、それとも課題として記載しているか。課題と捉えているのであれば、その価値観こそ見直す必要があるのではないか。区の高齢者は頼りになるという印象があり、個人的には高齢化をマイナスには捉えていない。また、外国人がいることを強みにしていくように考えていただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>高齢化の進行は、高齢者が安心して暮らせるまちであるという強みを表すものでもある。高齢化を負の影響と捉えていると誤解されないように記載いただきたい。</p>
<p>区 委員</p>	<p>負の影響を及ぼす課題として記載したわけではない。趣旨が伝わるように工夫して記載したい。 区内の経営者は地域組織の役員を担うなど、区の活性化に重要な存在であり、区内事業者の増加・維持に取り組む必要がある。そこで、業種を問わない創業支援施設の開設、起業家に対する各種支援・補助金の充実、経営者交流の促進などに取り組んでいただきたい。</p>
<p>区</p>	<p>事業所が減少し、開業率も都内の他自治体に比べて低いことは課題と認識している。創業支援については、力を入れて取り組んでおり、ふらっとにっぽりにイデタチ東京という創業支援施設がある。また、南千住に都のモノづくり系の創業支援施設があり、町屋には民間の創業支援施設があるなど、区の面積に比して多くの創業支援施設が立地している。今後は、これらの施設と併せて、ソフト面での支援も充実</p>

会長	<p>させていきたいと考えており、基本構想にも反映していきたい。</p> <p>基本目標 「 ~人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち~ 」 について意見いただきたい。</p>
委員	<p>基本目標の方向性の2つめの文は課題を記述しているだけである。全体を通じて方向性を記述していない文が見受けられるので、方向性が記述されるように統一いただきたい。</p>
委員	<p>現行の区の施策には分野横断的な施策が少なく、情報が孤立しており、関心のない人に伝わっていない。その結果、他分野の人とつながりにくくなっていると感じる。</p>
区	<p>区の政策は部ごとに実施しているため、関わりのない分野の情報が伝わりにくい現状があると認識している。基本構想にて全体像を示して区民に伝えていくことが重要と考えて検討していく。また、政策や施策の検討の中でも、ご指摘の点は意識していきたい。</p>
委員	<p>横断的な取組を実施するには、町会を活性化させ、新陳代謝する組織にしていく必要がある。町会の人材は地域活動への参画率が高いので、区は町会を巻き込んでいけるよう努めていただきたい。</p>
委員	<p>町内のマンションの住民に対してサンプル調査を実施したところ、10年で約5割の住民が入れ替わっていることが分かった。10年経つと約半数の住民が入れ替わるなかで、地域住民の意識を表すという意味で、基本構想の担う役割は大きい。</p> <p>また、町会活動はコミュニティの根幹として、防災に向けた夜間パトロールや地域と学校の連携した子育て・教育など、基本目標だけでなく、多くの分野に関わっている。基本構想においては、そのことを反映できるような言及の仕方にしていただきたい。</p>
区	<p>小委員会では町会についても議論いただく予定である。また、地域のコミュニティは荒川区の強みと捉えており、記載内容を検討したい。</p>
会長	<p>委員の意見は、町会は小委員会で議論する政策だけでなく、都市像にも通じる重要で基本的なものであり、行政運営やDXと同じように位置付けるべきではないかという趣旨かと考えるが、どうか。</p>
区	<p>区民の生活が町会の活動に支えられて成り立っていることは理解している。現案で行政運営やDXが占める分野横断的な政策としての位置にどの政策を含めるかは今後検討したい。</p>
会長	<p>コミュニティという言葉は必要と考える。</p>
委員	<p>サブタイトルの最初に「人情」という言葉があることに魅力を感じる。</p>

	<p>アメリカでは、図書館が非英語話者の英語学習施設として機能するなど社会に役立つ施設として大きな役割を担っている。荒川区においても、ゆいの森やスポーツセンターが多世代の様々な人が交流する拠点として機能すると良いのではないかと。学校教育や生涯教育、社会教育として、これらの施設に子どもや大人が足を運ぶようになることが重要と考える。</p> <p>また、何をやってもらえるかではなく、荒川区や社会のために何が出来るかを問う主体的な子どもを育てるためにも、教育は重要である。</p>
区 委員	<p>4つの分野に跨る議論として、計画に反映していきたい。</p> <p>どういったところで反映させていけそうか。</p>
区 会長	<p>「読書を愛するまち」というのがキーワードとなる。すぐに具体的な案をご提示することはできないが、ゆいの森や町会との関係も含めて、検討していきたい。</p> <p>本日は、交流という観点も必要であるということ共有できた。次回以降、案が出てくると良い。</p>
委員	<p>基本目標 「 ~安全安心で快適に暮らせるまち~ 」について意見いただきたい。</p> <p>現状と課題の記載内容が、社会全体の話をしているのか、荒川区固有の話をしているのか分からない。例えば、「不法投棄等のごみ問題」とあるが、社会全体の話としてはリチウム電池の発火が社会問題となっている。荒川区固有の話としては子どもたちへのアンケートでポイ捨てへの意見があった一方で、区民アンケートでは街がきれいという意見がある。</p>
区 会長	<p>荒川区では、三河島近くの線路沿いなどで、不法投棄が発生している現状がある。また、区民からたばこのポイ捨てへの意見を頂くこともあり、荒川区固有の問題としてとらえている。</p> <p>重要度や満足度について平均値に基づいて分析されているが、地域や回答者の属性によって傾向が異なることが予想されるため、詳細に分析する必要がある。</p>
委員	<p>安全は指標化されており、ISO や事故調査委員会に基づいて数値化できるので、40年後に政策評価する際も使いやすい一方で、安心は異なる。</p> <p>例えば、外国人の犯罪率は数値化可能だが、外国人との共生への不安感にはSNSの情報や景気も影響している。安全と安心は同一のものではないので、言葉の使い方に注意いただきたい。</p>

会長	安全は客観的だが、安心は主観的である。例えば、犯罪を減らすことと、犯罪不安を減らすことは異なる。
区 委員	<p>頂いた意見を踏まえて記載を工夫していきたい。</p> <p>荒川区においては、木密地域の解消が重要な課題である。地域危険度も高い。心理的な安全や安心の確保も重要ではあるが、災害発生時に木密地域の解消が進んでいないことが原因で、火災の拡大や緊急輸送路の確保が困難になるという課題が生じる可能性がある点については、現状の課題として記載いただきたい。</p> <p>また、荒川区は都市公園の比率で見ると、23区の平均を下回っている。公園を造る際の土地の確保が難しいという現状があり、公園整備のあり方についても言及することが望ましい。</p>
区 委員	<p>木密地域については課題と認識しており、基本構想にも反映していきたい。公園の整備についても頂いた意見を踏まえて検討したい。</p> <p>荒川区の火災件数自体は23区内でも最も少ない状態を5年間続けている。また、犯罪も少ないと聞いている。防犯や防災が課題として挙げられているのは、木密地域の存在や地域危険度の高さから不安を覚えている人が多いと推測され、心理的な不安を解消することにも取り組む必要がある。</p>
会長 委員 区	<p>正しい情報を区民に伝えて、安心していただくことは重要である。</p> <p>下水道や電柱の老朽化対策も重要ではないか。</p> <p>下水道は東京都が管理しているが、八潮市での事故を受け、古い下水道管については区で調査し安全に問題はないという結果が出ている。今後も下水道などのインフラ設備について区が定期的に検査していく予定である。電柱については、無電柱化に取り組んでいる。</p>
会長 委員	<p>課題としては記載されているが、方向性が記載されていないため、次回までにお示しいただきたい。</p> <p>人口密度が高いため、発災時には避難先となる学校や公園が飽和することが懸念される。防災においては、町会なども活用しながらコミュニティで支えていくことが必要と考える。</p>
区	<p>荒川区の人口密度の高さや、発災時に帰宅困難者の発生が予想されることは課題と認識している。区としては、町会を中心とした一次避難所の開設運営訓練や、区内の事業者との発災時に施設を開放していただく協定の締結、在宅避難のためにローリングストック法等で7日分の備蓄をしていただくことを促進する取組を実施している。</p>
会長	<p>都市像として、発災後に迅速に対応できる街を目指すことなども盛り込むか。</p>

<p>区</p> <p>会長</p> <p>会長</p>	<p>応急対応のみならず、復旧・復興の対応も必要と考え、盛り込んでいきたい。</p> <p>本日は、区民の意見を踏まえて巨視的な視野で議論できた。小委員会では専門的な知見も踏まえて議論していただきたい。</p> <p>本日お出しできなかった意見はメールにてご連絡いただければ、事務局にて検討する。</p> <p>続いて、次第4「小委員会の進め方」について事務局より説明いただきたい。</p>
<p>区</p>	<p>資料5「小委員会の進め方について」説明する。</p> <p>小委員会の構成について、荒川区基本構想審議会運営規定第18条において、小委員会の委員長及び委員については、会長が指名することとしている。第1小委員会については、46ページのとおり、第2小委員会については47ページのとおり、会長による指名があった。3月および4月に実施する小委員会については、各小委員会こちらの委員構成でご議論いただきたい。</p> <p>委員会においては、それぞれの基本目標に紐づく政策についてご検討いただく予定。小委員会での検討事項として、各政策における2040年の望ましい姿及び方向性について検討いただく。</p> <p>各小委員会で検討する政策につきましては、表のとおり。第1小委員会では基本目標の「人情・産業・文化が息づくにぎわいのまち」と「安全安心で快適に暮らせるまち」に紐づく政策をご検討いただきます。第2小委員会では「将来にわたって「ひと」が育つまち」と「多様な価値観・自分らしさを認め合い一人ひとりが輝くまち」に紐づく政策について検討いただく。すべての政策に関連する「行政運営・DX」は、両小委員会で検討いただく。</p> <p>政策を検討する際の基礎資料として、「子育て」や「教育」、「防災」などの政策ごとに、基本構想策定支援シートを示す。</p> <p>基本構想策定支援シートは、全庁で実施した、現行の計画の振り返りを基に作成しており、「現行の計画における主な成果と課題」「区を取り巻く社会動向」「区の現状」「次期基本構想の策定に向けた課題と取組の方向性」の4つの項目を整理する。これらを踏まえて、小委員会において、2040年のあるべき姿について、意見をいただく考え。</p> <p>なお、基本構想策定支援シートは、準備ができ次第メール等で事前に示す。</p> <p>小委員会での議論のまとめに関して説明する。資料では「子育て」を例に示しているが、まず各政策に関して、自由に意見いただき、2040</p>

	<p>年の望ましい姿・目指すべき姿について、「2040年にどんな状態になっているか」まとめていただく。その後、政策の方向性について、「どんな取組を行っていくのか」を整理する。</p> <p>本シートの作成は事務局で行うため、委員長を中心に政策ごとの2040年の姿・取組の方向性について検討いただく。</p>
会長	<p>資料5について質問・意見をいただきたい。 ご質問がないため、資料6の通りに進める。</p> <p>基本構想策定支援シートは現在調整中であり、調整が完了次第メールにて送付する。</p>
会長	<p>続いて、次第5「審議会開催スケジュール」について事務局より説明いただきたい。</p>
区	<p>資料6 審議会のスケジュールについて説明する。</p> <p>次回から、2つの小委員会に分かれて、各政策の方向性について審議いただく。各小委員会への割り振りは、46ページ及び47ページの小委員会の名簿を確認し、該当する小委員会へ出席いただきたい。またオブザーバーとして他方の小委員会へ出席する場合は、事務局までお知らせいただきたい。</p> <p>日程は3月12日(木)に【防災・防犯、環境、産業、文化・芸術、まちづくり、区政運営】を所掌する第1小委員会を、3月19日(木)に【子育て・健康・福祉・共生、区政運営】を所掌する第2小委員会を開催する。4月も引き続き、小委員会で審議いただく。日程は、4月10日(金)に第1小委員会を、4月20日(月)に第1小委員会を開催する。5月25日(月)に全体会の第3回基本構想審議会を開催し、小委員会での議論の報告及び、基本構想の骨子案を示す。6月29日(月)に、第4回審議会で、これまでの審議会での議論を踏まえ、答申の案をいただく。7月27日(月)に、第5回基本構想審議会で、最終的な答申をいただきたい。各回とも、時間と場所はいずれも記載のとおり、場所未定の日は追ってご連絡する。</p>
会長	<p>資料5について質問・意見をいただきたい。 ご質問がないため、資料6の通りに進める。</p> <p>全体を通して意見があればいただきたい。</p>
委員	<p>将来像を決定する時期についてご教示いただきたい。</p>
区	<p>将来像は、小委員会の議論を踏まえて決めていきたい。今後ご提示するスケジュールにてお示しする。</p>
会長	<p>パブリックコメントは実施するか。</p>
区	<p>第5回審議会の後に実施する。</p>

委員	<p>基本目標 の中に、銭湯について記載されているが、銭湯のどの点を区独自の魅力として捉えているか。また、銭湯のような細かい要素を記載するのであれば、日暮里の繊維街も記載いただきたい。</p>
区	<p>他区に比べて数が多い点や、昔からの建物を使用したものもあれば新しい銭湯もありバラエティに富んでいる点を魅力として捉えて PR に取り組んでいる。</p>
会長	<p>銭湯への言及がシティプロモーションと結び付けられているが、文化の保全や継承との関連性が明確でないため、内容が分かりにくくなっているのではないか。</p> <p>本日予定していた議題はすべて終了した。</p> <p>最後に、事務局より事務連絡をいただきたい。</p>
会長	<p>[ 閉会 ]</p> <p>以 上</p>